

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【宮前小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語「言語の特徴や使い方」 算数「数と計算」「変化と関係」 <指導上の課題> 個人差が大きいので、個に応じた指導が必要。自身の課題を理解するための振り返りが不十分。	⇒ 漢字は辞書を活用しながら、普段から文章の中で使う【毎時間】。主語述語の関係は、ドリルパーク等で定期的に練習するようにする【月に1～2回】。既習事項を振り返りながら、これまでの学習内容と関連付ける意識を高める【毎時間】。自身の課題を振り返り、課題を達成するための学習方法について考える機会をもたせる【単元ごと】。
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「書くこと」「読むこと」(記述) 算数「図形」「数と計算」 <指導上の課題> 文章のつながりを意識してまとめさせたり、式との関わりを説明させたりする機会が不十分。	⇒ 業前の読書活動や図書室の活用を十分に確保する【週に1回】。「個別最適な学びの観点」並びに、「協働的な学び」の観点を取り入れた授業を実践し、自分の考えを整理して説明する機会を増やす【単元ごと】。ICTを効果的に活用し、視覚的に図形等の構造を理解させ、「わかった、できた、楽しい」を引き出す【随時】。

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)